

平成 28 年度 事業計画

昨年度は、過去 7 年間において最高の宿泊者数を記録できた一年となりましたが、地域間競争における下呂温泉を取り巻く環境は厳しく、先行き不安な要素も多くありますが、平成 28 年度も官民一体となって元気な下呂温泉をアピールし、地域の活性化に向けた取り組みを実施して参ります。

本年度は引き続き「まちづくり」を重点的に進めていきます。観光経済新聞紙上における「温泉・食事は好評価でもまちづくり面に課題」という当地域の現状や、来訪者調査でも同様の結果である点を合わせて、より強く魅力ある下呂温泉を目指していきます。また、昨年より開始した、岐阜県地域活性化ファンド助成金を受けた「湯けむり横丁にぎわいバザール」における、今後の下呂温泉街に何が必要かを調査・検証する事業を継続し、来訪者が望む下呂温泉街を目指し、市当局・議会と連携しながら進めて参ります。さらに、国が推進する DMO(Destination Management/Marketing Organization)についても国の認定を受け、勘や経験・思い込みに頼る事業推進から客観的データに基づく観光推進を強化し、地域としてより稼ぐ仕組みづくりに取り組んでいきます。

誘致宣伝委員会では、各方面からの入込状況などの調査・研究を引き続き進めて参ります。誘致事業においては、本年度もネット、ラジオ、テレビなどを活用した広告宣伝を行い、関東地方をはじめ、東海・北陸・関西・中国・九州方面に至るまでの広範囲にわたったキャラバンを実施します。また、下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市コンベンションビューロー、ふるさと文化財団などとの連携を強化し、下呂交流会館「アクティブ」を中心とした「MICE」による経済効果の高い誘客活動を進めます。

交流研修委員会では、下呂市の観光資源を対象にした下呂市の観光資源視察研修や先進地の視察調査研究をして参ります。また、まちづくり委員会と共同で、街づくりの研修を行なって参ります。

まちづくり委員会では、本年度も市当局、議会と連携しながら下呂温泉街のまちづくりを進めて参ります。また環境整備事業として植樹・清掃活動などを行うとともに、無電柱化早期実現を目指し、視察や勉強会等を開き「魅力あるまちづくり」を推進して参ります。

おもてなし委員会では、下呂温泉に訪れたお客様に満足していただけるよう、おもてなしの心で、お客様の目線に立って各イベントを行って参ります。

下呂市観光協会連絡協議会では、市内各地域との一層の連携と行動、協働作業により豊富な観光資源を連携させ、更なる魅力アップに努めて参ります。

その他、富加・関インターからの県道アクセス、41号線雨量規制緩和、リニア中央新幹線によるアクセスの向上、河川及び景観の整備、安全確保のための基盤整備、“ワイドビューひだ”の大阪直通便の増発、北陸新幹線を含めた高山本線の更なる有効活用など関係機関へ働きかけを引き続き行って参ります。

また、外国人誘客のための招致事業や観光展への参加など、インバウンド事業も積極的に進めて参ります。

下呂温泉への年間宿泊者数が 108 万人に到達するための数値目標を定め、常に現状を見極め、汗をかきながら日本の宝である下呂温泉の更なる発展と雇用の確保、地域の活性化を目指して参ります。関係各位のご厚情と会員の皆様のご協力をお願い致します。